

2月22日(火) 発行

四日市市立南中学校

学校への信頼度大幅アップ！ 次年度へ繋がります！

学校評価アンケート結果から、次年度への足がかり！

昨年度「南中学校の教育活動を、これまで以上に充実させるための手だてを探る基礎材料として、また、生徒や保護者の皆さんの希望に沿った教育活動に近づけるために、継続的に学校生活全般についてアンケートを実施していく予定です。」とお願いしました。そこで、本年度も12月に保護者の皆さん・生徒の皆さん及び学校職員を対象としてアンケートに答えていただきました。今回も、大変多くの皆さんにご協力いただきましたことを、重ねてお礼を申し上げます。

この度、本年度のアンケートの集約ができましたので、お知らせいたします。アンケートの結果をグラフに表し、まとめの考察を入れておりますのでご覧ください。本年度特筆すべきことは、生徒の皆さん、保護者の皆さんともに、昨年度と比べ大幅に肯定的な結果及び意見をいただいたことです。しかし、まだまだ課題も多くあることを真摯に受け止め、これからもよりよい学校生活を送れるよう精一杯取り組んで参りたいと思っています。さらに、少数ではありますがいろいろなご意見をいただきましたことも、今後の教育活動に生かしていきたいと考えています。

A～Dの評価

A：よくあてはまる（そう思う）

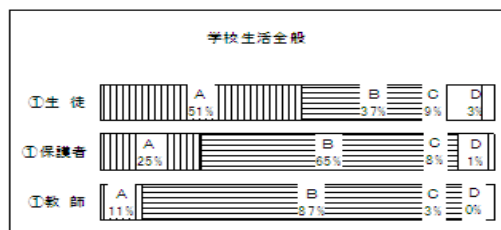
B：あてはまる（すこしそう思う）

C：あまりあてはまらない（あまりそう思わない）

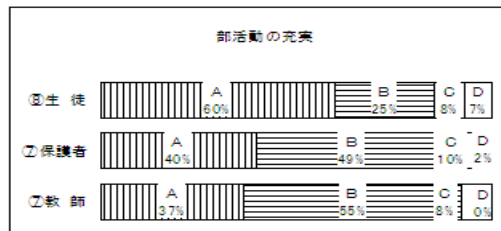
D：あてはまらない（そう思わない）

I 学校生活の充実

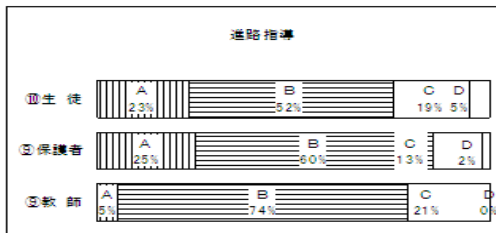
①～⑪はアンケート項目です。



- ①生徒… 学校へは、毎日楽しくきている。
- ①保護者… 学校の教育活動は、全体的に見て満足できる状態である。
- ①教師… 学校教育目標、ビジョンは生徒たちの実態から見て適切で、教育活動はその実現に向けてしっかりと取り組まれている。



- ⑧生徒… あなたは、部活動にまじめに参加し、目標を持って活動している。
- ⑦保護者… 学校は、部活動で適切な指導を行い、明るく楽しいクラブづくりに取り組んでいる。
- ⑦教師… 部活動で適切な指導を行い、明るく楽しい中にも、厳しさのあるクラブづくりに努めている。



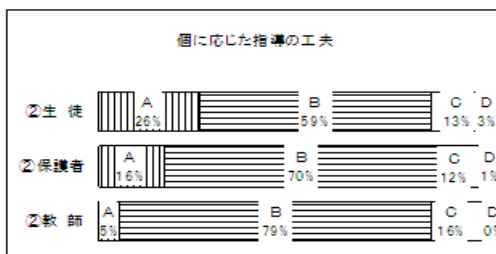
- ⑩生徒… あなたは、将来の進路について学習し、それらについての情報を学校から知らせてもらっている。
- ⑨保護者… 学校は、入試情報や職業について等、将来を見通した進路指導に努めている。
- ⑨教師… 生徒一人一人の興味、関心、適性に応じた進路選択ができるように3年間を見通した進路指導を行っている。

昨年度は生徒が落ち着いて学習できる状態にすることを教師が意識し、改善するよう取り組みを実践し、保護者・地域の協力を得ながらすすめてきました。今年度は各学期の初めに全教師が服装点検等を一齐に指導することにより、生徒の意識を向上させるようにしてきました。また、フリー参観を学期毎に実施し、保護者や地域の方に学校の様子を見てもらう機会を設けてきました。その結果、全ての項目において、「A」及び「B」の肯定的な割合が4分の3（75%）以上という昨年度の結果を上回りました。次年度以降さらに生徒・保護者の満足につながる信頼ある学校づくりをめざしたいと思えます。

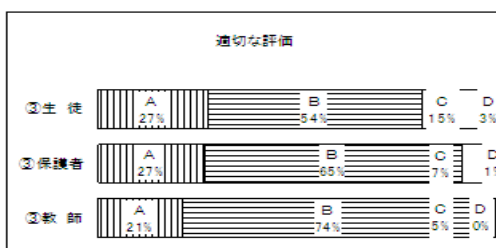
部活動については、生徒も教師も高い満足度を示しており、心身の成長が非常に大切なこの時期に、熱心に取り組んでいることはとても重要なことであり、価値あるものだと思います。しかし、学年があがると熱意が冷めてしまう傾向があるため、3年間意欲的に継続できる部活動をめざすような工夫が必要であると考えています。

進路指導に関しては、1年生で「3年後の私へ」「身近な職業調べ」、2年生で「職場体験」、3年生で「修学旅行」「進路選択」など生きる力を育む指導を系統的に行い、将来を見通したキャリア教育と学校行事を関連づけながら継続的・具体的に考えていく必要があると考えます。進学への意識付けとしては、2年生の教室に3年生で作成した進路説明会の資料を置き、進路通信を掲示するなど早い時期から生徒の意欲を喚起させてきています。今後は、生徒一人一人が目的を持った学習意欲の向上へとつなげていきたいと考えています。

II 授業の充実



- ②生徒… 先生は、授業をていねいに分かりやすく教えてくれ、楽しく授業を受けている。
- ②保護者… 学校は、分かりやすい授業の工夫をしている。
- ②教師… 小集団活動により、ともに学び合う授業の工夫をし、生徒に基礎・基本を大切にしたり、丁寧でわかりやすい授業を行っている。



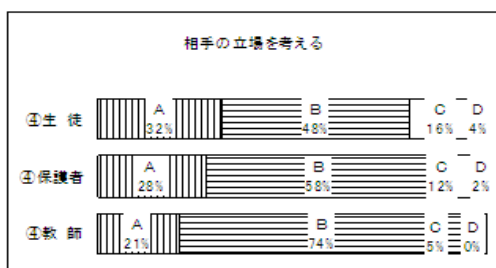
- ③生徒… 先生は、学習での努力や成果をきちんと認めてくれる。
- ③保護者… 学校は、学習における子どもの能力や努力、学力を適切に評価している。
- ③教師… 毎日の学習における生徒の能力や努力、学力を適切に評価している。

授業の充実に関しては、学校全体で共通理解を図り、授業規律の確立を徹底することを継続させてきました。評価結果から生徒は概ね満足する授業を受けているように感じられます。小集団を活用した学習が2年目になり、指導計画が整理されてきたこともあり、教師の満足度が昨年度と比べ、高い結果になっています。しかし、学習内容や方法について、さらなる研修を続ける必要があると考えます。基礎学力の充実に関しては、今年度は、帰りの学活の前に脳トレ（1・2年生：南中版基礎学力定着学習）の時間を設け、プリント学習を継続して行うことで脳の活性化を図ってきました。今後、1・2年生の脳トレは内容面や実施方法について改善の余地があると考えています。3年生は進路を意識した補充学習を続けてきます。

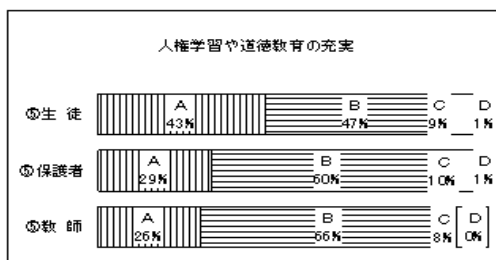
生徒一人一人が、繰り返し学習をすることはもちろん大切ですが、お互いが学び合う学習を実践するために研修を進めたいと考えています。さらなる学力の向上をめざすためには、宿題を工夫したり、家庭と連携をとったりしながら家庭学習の定着および充実を図りたいと考えています。

授業の評価に対しても概ね保護者の理解を得ていると考えます。教科部会を充実させながら年間を通した授業計画や信頼される評価について検討してきました。今後は、評価が生徒の意欲につながるよう評価の仕方を考え、一つ一つの教育活動を行う必要性を感じています。

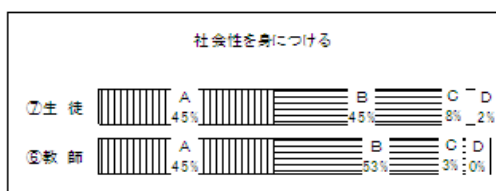
Ⅲ 心の教育の推進 人権学習や道徳教育の充実



- ④生徒… 先生は、いじめや暴力などの問題にきちんと対応してくれる。
- ④保護者… 学校は、いじめや暴力のない学校づくりに取り組んでいる。
- ④教師… いじめや暴力のない仲間づくりに努めている。



- ⑤生徒… 学校では、命の大切さや人権を大切に、差別をなくすための学習が実施されている。
- ⑤保護者… 学校は、豊かな心を持ち、命の大切さや人権を大切にする子どもを育てるようにしている。
- ⑤教師… 豊かな心を持ち、命の大切さや人権を大切にする生徒を育成するため、道徳人権教育の推進に努力している。

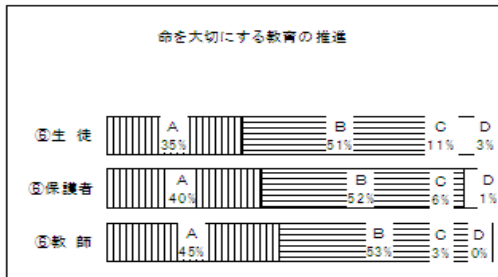


- ⑦生徒… あなたは、毎日挨拶をし、コミュニケーションを大切にして、学校生活を送っている。
- ⑦教師… 挨拶を心がけ、生徒とのふれあいを大切にし、生徒の心に寄り添い、生徒が明るく楽しい学校生活を送れるように努力している。

学校全体が落ち着いたことから評価の結果は高い数値になっていますが、少数とはいえ辛く嫌な思いをしている生徒がいるということを受けとめる必要があると考えています。学校に出にくい生徒や悩みを持って生活している生徒の声を少しでも多く聞いたり、自尊感情を高めたりするとともに解決に向けた話し合いをする教育相談を、学期毎に実施してきました。また、不登校の生徒に対しては「教育委員会教育支援課」「ふれあい教室」「北勢児童相談所」などの外部機関との連携により、将来に目を向けた対応をしています。この項目について生徒・保護者から高い評価をいただいているということは、生徒同士のつながりが少しずつ本物になっていると考えられます。

昨年度から継続して「あいさつ」の大切さを生徒とともに考えてきた成果もあり、本校を訪れる方々から、生徒たちから大きな声で挨拶をしてくれそうですと褒めていただいています。朝の「あいさつ運動」や授業の始まり終わりのあいさつなどを大切にしながらさらによくしたいと考えます。また、生徒が自尊感情を高めたり差別をなくす行動力を身につけたりする人権学習や道徳教育を進めることにより、生徒同士のつながりを深めていきたいと考えています。

Ⅳ 健康安全安心教育の徹底

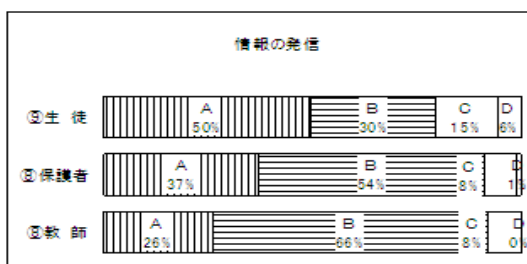


- ⑥生徒… 先生は、生徒とのふれあいを大切に、親身になって接してくれる。
- ⑥保護者… 学校は、挨拶に心がけ、子どもとのふれあいを大切に、子どもが明るく楽しい学校生活を送れるようにしている。
- ⑥教師… 挨拶を心がけ、生徒とのふれあいを大切に、生徒の心に寄り添い、生徒が明るく楽しい学校生活を送れるように努力している。

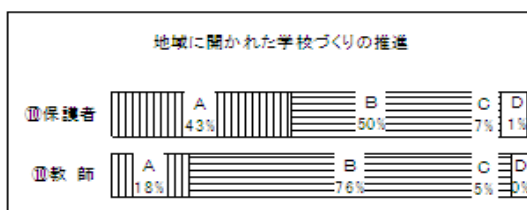
多くの生徒が活発に生活する学校においては、思いがけない事故が起こることがあります。そこで、すべての休み時間に各学年の教師が教室や廊下等において、生徒と親和的に話をするように心がけています。教師が教室や廊下等にいることにより、危険を未然に防ぐとともに、生徒に安心感を与えることができています。教師が穏やかに声をかけることで生徒の心になごみが生まれ、ほのぼのとした雰囲気を作られていきました。叱るときは厳しく真剣に、ほめるときも心から真剣に、生徒の心へ響くように声をかけることで教師と生徒がつながってきています。

交通事故については、本年度はここ数年間では大変少なく数件でした。しかし、その事故のほとんどは帰宅後の自転車乗車中に起こっています。自転車のマナーなどさまざまな交通規則を学び、生徒一人一人が真剣に考えるように指導をするとともに、学校全体で命の大切さを鑑み、今後さらに継続してマナーの向上に取り組んでいきたいと考えています。

V 地域・家庭・保護者との信頼関係の確立



- ⑨生徒… あなたは、「南風」や「学年通信」等を家の人にきちんと渡している。
- ⑧保護者… 学校は、保護者の相談・思いや願いに適切に誠実に対応し、学校の様子を保護者に「通信南風」等でよく伝えている。
- ⑧教師… 保護者の相談や思いあるいは願いに適切で誠実に対応し、学校の様子を保護者に「たより」や家庭訪問で絡している。



- ⑩保護者… 「フリー参観や行事」を通じ、地域に学校を開き、保護者等の人たちが学校へ来やすくしている。
- ⑩教師… 「地域に開かれた学校づくり」を目指し、地域や保護者の人たちとの連携を大切にしている。

今年度は保護者や地域の方が、週に2～3日間図書館ボランティアとして生徒と接していただいています。そのことにより、生徒が教職員だけでない社会の風を感じるよい機会になっていると思います。学校は保護者との信頼関係を向上するため、「南風（学校便り）」・「学年通信」や南中ホームページ（minami-jteacher@city.yokkaich.mie.jp）を通じ、学校の様子や生徒の活動をお知らせしています。

気になる生徒については、家庭訪問を中心とした連絡体制により、保護者の方々と密接に情報を交換したり対応策を考えたりしています。これらの取り組みもあり、90%をこえる保護者の方々から高い評価をいただいていると考えています。

学校づくりは、保護者はもとより地域との協働も大切です。教職員が生徒一人一人を理解し、保護者との信頼関係を構築しながら、地域の各行事や人権講演会などへ参加することにより、地域の皆様とつながりを強くし、地域とともに生徒の健やかな成長を支援していく必要があると考えています。そのためにも、引き続き一層のご理解とご協力をお願いします。